

第75回近畿地区聾学校陸上競技大会 男子 4×100mR

優勝

滋賀県立聾話学校
高等部二ユース



写真(左) 4×100mRで優勝した選手
右から1走高田文2走山本3走阪口4走奥口



写真(右) 3走阪口からアンカーの奥口へバトンをつなぐ。

近畿地区聾学校陸上大会 ヤンマーフィールド長居 で熱戦繰り広げる

第75回近畿地区聾学校陸上競技大会が12日(木)、大阪市のヤンマーフィールド長居で開催され、近畿各地から集まった選手たちが熱戦を繰り広げた。男子総合の部では、滋賀県立聾学校が準優勝を果たした。昨年度の覇者として大会連覇を狙ったが、大阪府立だいせん聴覚支援学校が僅差で上回り、惜しくも大会連覇はならなかった。

その他の選手たちも最後まで力を尽くし、チーム全体で健闘した本大会。仲間とともに過ごした時間と、全力を尽くした経験が、今後の成長につながる大きな糧となりそうだ。本大会で3位入賞を果たした選手は、9月26日(土)28日に山梨県で開催される全国大会に出場する。さらなる高みを目指し、また新たな挑戦が始まる。

それでも選手たちは、競技場の熱気に包まれながら、最後まで力強い走りと粘りを見せた。4×100mリレーではチーム一丸となった走りで見事優勝を飾り、スタンドから大きな拍手が送られた。個人種目でも輝かしい活躍が見られた。主将の山本蒼が100mと200mの2種目で頂点に立つ活躍を見せ、短距離界でその存在感を発揮し観客の注目を集めた。100mでは、奥口大翔も3位に入賞し、チームの得点に大きく貢献した。また長距離種目でも健闘が光った。1500mでは1年生の高田文彬が堂々の2位に入り、今後の活躍に期待がかかる。



(左)滋賀県立聾話学校高等部の生徒たち (右)100m200mで優勝をした主将の山本蒼